

科目名	グローバルマネジメント			担当教員	河野 公洋
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	EI2BUA312
期待される学修成果	社会事情に対応する応用力、情報の分析に関する力				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験	(空白)				
実務経験を生かした授業内容	(空白)				
到達目標及びテーマ	グローバル・マネジメント&ビジネスの基本的な知識と具体例の習得を目標とする。				
授業の概要	企業は、大競争時代を迎えたと言われて久しいが、経営のグローバル化に伴い、経営面でどのような問題に直面し、国際的に適応しているのか。歴史的な経緯を踏まえて、アジア、欧米主要国の経営風土・組織と経営システムを国際比較しながら、基本課題につき企業行動や経営戦略を具体的に分かりやすく解説する。また、中国の世界工場化と世界の市場化、日本産業の空洞化、アジア地域での産業協力の棲み分け、リストラ、国際戦略提携とM&A、IT革命と日本的システムの変革、知識創造マネジメントと知の国際移転など重要な課題にも具体的に最近の企業事例で概説する。				

授業計画	
第1回	国際経営論の学び方 ガイダンス、企業の国際化とは何か？
第2回	現在の国際経営の環境（国際市場経済統合化（EU、NAFTA、AFTA他）等）
第3回	グローバル・マネジメントの歴史
第4回	グローバル大競争時代における現代企業の基本戦略
第5回	多国籍企業の戦略と組織の展開
第6回	グローバル・マーケティング戦略
第7回	異文化インターフェイス経営の現状と課題
第8回	国際合併事業と異文化融合（ハイブリッド）経営
第9回	グローバル・スタンダード（世界標準）経営の動向と「日本型経営の進化」
第10回	日本企業のグローバル化と経営技術移転をめぐる諸問題
第11回	アジア市場への参入戦略と産業協力
第12回	「経営の現地化」とグローバル化 国際戦略提携とM&A（日・米・欧比較）
第13回	人事管理・人材育成のあり方国際財務管理の課題
第14回	国際財務管理の課題
第15回	まとめ

事前学修	2時間	日本企業のグローバル化と経営技術移転をめぐる諸問題について自分なりの考えをまとめておくこと。
事後学修	2時間	毎回の講義を復習しておくこと。
フィードバックの方法	UNIVERSAL PASSPORTを使います。	

補足事項	欠席は期内4回まで、5回（1/3）を超える場合失格となります。
------	---------------------------------

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特に定めなし	特に定めなし	特に定めなし	特に定めなし	特に定めなし
参考資料	講義中随時紹介する参考図書、配布する参考資料を十分活用する事。			

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	80%	クリッカー・課題などでの理解度チェック
上記以外の試験・平常点評価	20%	